

振り返りセッション

ASTER

大西 建児(JaSST東京実行委員) presents
JaSST東京初の振り返りセッション。
初日～二日目午前中までのいくつかのセッションを、担当実行委員の
熱いメッセージとともに駆け足で振り返ります。




Japan Symposium on
Software Testing
JaSST

セッションA0 : オープニングセッション

(A0) 10:00 - 10:15	オープニングセッション (JaSST東京実行委員会)
--------------------------	-------------------------------

総合司会: 柳原 彰
ASTER 理事長 西 康晴によるオープニング
JaSST、ASTERのこの1年の活動、JaSST東京の見どころなどを紹介。

テス太郎

A1 : 基調講演

(A1) 10:15 - 12:00	Testing Trends and Innovations テストトレンドとイノベーション Lee Copeland (Software Quality Engineering)
-----------------------	--

「『テストトレンドとイノベーション』と題してプロセス、アジャイル、教育、ツール、プロセス改革の5つの分野で海外における昨今の取り組み状況や手法を紹介。『“チェック”と“テスト”の違い』や『20の扉』を用いたスクリプティングテストに対する探索的テストの優位性を紹介。最後に「次のイノベーションの創出は、ここにいる皆さんにかかっている」と力説し、開発の手法、ツール開発に携わる「人」のすべにて、大きな可能性が広がっていることを示唆した。





テス太郎

A2 : 関西presentsテスト採配ワークショップ

(A2) 13:30 - 15:10	決断！最善の一手 (JaSST関西実行委員会)
-----------------------	----------------------------

JaSST関西で実施したワークショップを、強力にブラッシュアップ。まず、テスト観点の必要性を例示として「大文字、小文字の違いに注意すること」に着目してグループごとに健康管理時計のテスト観点洗い出し。それぞれの作成資料は多くのテスト観点があり全員が大変うちとけて話をされていた。続いて要件が変化。会場は更に盛り上がり、大盛況のワークショップとなった。テスト観点の必要性を再認識できる内容であった





テス太郎

B2 : テストスキル標準 : Test.SSF

(B2) 13:30 - 15:10	テストスキル標準(Test.SSF)の紹介と活用事例 鈴木 三紀夫 (ASTER) 佐々木 方規 (IVIA) 石川 俊一 (IVIA) 辰巳 敬三 (ASTER)
-----------------------	--

Test.SSFの概要と適用事例を紹介。
IVIAはTest.SSFを活用し Level分けした教育研修シラバスの作成について事例を紹介した。
WACATEではワークショップの1セッションとしてスキル判定を行った結果を披露。
C言語や業務知識を持っているということだけでテスト技術者のスキルを判断するべきではなく、テスト技術者が持つべきスキルを明示していくためにTest.SSFの活用を熱く語った。






テス太郎

C2 : テスト初心者向けミニチュートリアル

(C2) 13:30 - 15:10	テスト初心者向けセッション～書籍とめぐる知識の旅～ 香間 直樹 (マルチパラダイムシステムズ) 秋山 浩一 (富士ゼロックスアドバンスドテクノロジ)
-----------------------	--

初心者セッションでは、テストの初心者に向けてお勧めの書籍を紹介するとともに書籍のエッセンスを元に演習を行った。
100名近くの受講者が集まり、少ない演習時間にもかかわらず、みなさん真剣に演習に取り組んでいる姿が印象的であった。
会場のアンケートではTEF(ソフトウェアテスト技術者交流会)をご存じない方が8割を超えるなど意外な結果が得られた。是非、これを機会にTEFにご参加くださいー！！

テス太郎

D2 : テストプロセス

(D2) 13:30 - 15:10	テスト駆動開発のプロセス解析 中山 裕貴 (佐賀大学)
	テスト実施における作業容易性に着目したテストケース作成方法の検討 小山 竜治 (富士ゼロックスアドバンステクノロジ)
	リスクベーステストの考え方や品質表現の実際 -テストでのモニタリングプロセスを中心にリスクベーステストを考える- 永田 敦 (ソニー)

テストプロセスセッションでは、初心者の教育に役立てるために開発プロセスの解析を行う方法や、テスト実施におけるミスを削減するためのテストケース設計方法、リスクベーステストにおいてリスクを可視化し、より有効なテストを推進する方法について発表が行われた。

E2 : テストツールミニパネル

(E2) 13:30 - 15:10	テストツールパネル モデレータ: 湯本 剛 (日本ヒューレット・パッカード) (ASTER)
-----------------------	---

ツールを提供するベンダ、リセラとツールを使うユーザーとで、「日本でテストツールが浸透しない理由はなぜ?」「テストツールがエンジニアに本当に有益なのか?」といった熱い議論が繰り広げられた。



ネットワークランチサービス & 展示ブースツアー

12:00 - 13:30	ネットワークランチサービス & 展示ブースツアー
---------------	--------------------------

雅叙園の美味しいお弁当を食べた後、希望者により、展示ブースツアーを行った。展示ブースツアーはJaSST東京初の試み。3つのグループに分かれ、JaSST実行委員を添乗員として、スポンサーによる展示ブースを巡った。普段一人ではなかなか声をかけづらい展示ブースも、みんなで回れば怖くない。人の質問も大いに参考になる。同じ興味を持った仲間同士、ワイワイとにぎやかなツアーとなった。



JaSST

A4 : テスト開発方法論

(A4) 17:00 - 18:40	魁!!智美塾 テストアーキテクチャという考え方の提案 智美塾 (塾長、二号生、一号生、塾生)
-----------------------	---

一昨年のクロージングパネルより発足した智美塾。テスト開発方法論を継続して研究している。今年にはテストアーキテクチャ設計のメタモデルの発表とそれに基づくテスト設計の紹介をgmailをテスト対象とした、寸劇を交えて行った。塾生同士のパネルでは会場からの質問をリードとしてアーキテクチャ設計に登場するテスト目的とテスト対象についてなど、熱心な議論が展開された。智美塾は今年も継続して月一ペースで開催しており、新たな仲間の参加を歓迎する。



B4 : テストマネジメント

(B4) 17:00 - 18:40	テストマネジメント入門 ~JSTQB Advanced Levelに基づく実践的テストマネジメント~ 町田 欣史 (NTTデータ) 佐々木 方規 (ペリサーフ)
-----------------------	--

テストマネジメントセッションでは、JSTQB技術委員の方から、アドバンスドレベルの内容をわかりやすく解説いただいた。20名を超える立ち見の方、熱心にメモをとる方など、テスト技術への関心の高さがビシビシ伝わってきた。



JaSST

C4 : ライトニングトークス

(C4) 17:00 - 18:40	ライトニングトークス 司会: 和田憲明 (JaSST東京実行委員会)
-----------------------	--

バグピンポン、テストなくしてアジャイルなし、こっちはフリーズするっちゃうねん、笑いあり気づきありの9人が発表。LTを初めて聞く人が半分。途中、全員参加でのワークでは自己紹介をLT風に発表しておおおいに盛り上がり、最後はみんなで唄ってのフィナーレとなった。



D4 : テスト設計技法

(D4) 17:00 - 18:40	熟練評価者の知見分析を通じての安定した品質提供への取り組み 田中 利典 (ポールトゥウィン)
	原因結果グラフの分割と影響範囲の局所化に関する考察 ー仕様変更を考慮した論理関係テスト設計方法ー 加瀬 正樹 (ニフティ)
	ツールを利用した組合せテストの展開 ー組合せテスト技術の普及と状態遷移のある動作テストへの応用ー 大谷 和夫, 久米 留己子 (東芝ソリューションズ)

テスト設計技法をテーマに、エンタテインメント(ゲーム)プロダクトの評価者のパーソナリティに着目した発表、原因結果グラフからディビジョンテーブルを生成するツールであるCEGTestを活用したテスト設計のアプローチに関する発表、組合せテスト手法を評価した上で、状態遷移テストに適用するためのツールAPTNAvi開発と適用に関する発表が行われた。

E4 : テスト自動化

(E4) 17:00 - 18:40	UWSCを用いた自動回帰テストの評価 増田 隆 (フォーラムエイト)
	組込みリアルタイムOS向けテストツールのマルチプロセス拡張 金ハンソル (デジタルクラフト)
	ソーシャルアプリケーションのテスト法 ーソーシャルアプリという獣を手懐けるテストのアプローチー 山本 健 (文京工機)

自動化ということがその対象は、スタンドアローンアプリのUIのテスト、マルチプロセスOSのAPIのテスト、SNS用ゲームの頻繁なリリースのための回帰テスト、と三者三様のバラエティ溢れる内容であった。それぞれの問題領域特有の課題があり、それに対してみなさん頭脳と技術を駆使して対応されていた。特に最後のSNSアプリについては、携帯用ゲームということもあり楽しい内容で、会場からも質問が多く寄せられ、好評であった。

情報交換会

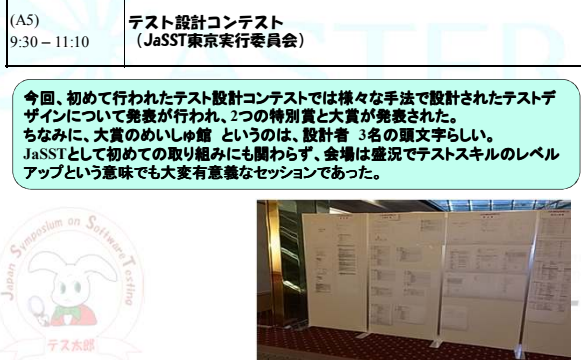
19:00 - 20:30	情報交換会
---------------	-------



初日のメは毎度恒例の情報交換会。多くの方々にご参加いただき、コーブランド氏によるスピーチの後、会場のそここで熱心なテスト議論が交わされた。最後はこれまた恒例のクイズ形式によるテスト本争奪戦が行われ、大いに沸いた会場であった。

A5 : テスト設計コンテスト

(A5) 9:30 - 11:10	テスト設計コンテスト (JaSST東京実行委員会)
----------------------	------------------------------



今回、初めて行われたテスト設計コンテストでは様々な手法で設計されたテストデザインについて発表が行われ、2つの特別賞と大賞が発表された。ちなみに、大賞のめいしゅ館 というのは、設計者 3名の頭文字らしい。JaSSTとして初めての取り組みにも関わらず、会場は盛況でテストスキルのレベルアップという意味でも大変有意義なセッションであった。

B5 : レビュー

(B5) 9:30 - 11:10	使い勝手も品質のうち ー使って頂きたいという思いからの製品作りー 野村 卓司(三菱電機システムサービス)
	テスト技術に基づく設計書品質定量化のための取り組み 朱峰 錦司 (NTTデータ)
	欠陥エンジニアリングの重要性と欠陥メタ情報の定義/管理 ー欠陥マスターデータベースの普及と産業寄与に向けた提言ー 細川 宣啓(日本IBM)

レビューセッションでは、使い勝手を品質ととらえて改善するための施策や、テスト項目を抽出できるかどうかという観点で、設計書の品質を定量化する手法、欠陥情報を大規模に集積して共有する欠陥マスターデータベースの提言などが発表された。

C5 : CEDECコラボ企画

(C5) 9:30 - 11:10	ゲーム開発の世界から ～金をドブに捨てないようにするテスト～ 庄司 卓 (CEDEC2011プログラムWG1リーダー、セガ) 伊藤 周 (セガ) 粉川 貴至 (セガ)
----------------------	---

CEDECの紹介と講師募集。複雑な仕様に入手のテストだと限界があり、現実的なテストとして局所的テスト、自動テストが有効であったため導入を提案。Continuous IntegrationのイチツールとしてフリーソフトHudsonによる自動化の有効性とデモを紹介。デモ中にPCがブルースクリーン発生！見事にリカバリをされていた(笑)

D5 : ビューティフルテスト

(D5) 9:30 - 11:10	テストのグローバルトレンド ツール/技法/プロセスを通して セッションプロデューサー: 大西 建児 (ガイオ・テク/ロジ) 細谷 泰夫 (XPJUG関西) 松本 晋祐 (ACCESS)
----------------------	---

プロデューサーは私、大西。同行者、細谷さん、松本さんによる海外のテスト事情を紹介。周囲のエンジニアからの尊敬は得られているか？実際の給与は？など刺激的な事例をまじえながら、アジャイルテストや技法にもタッチ。非常に密度の濃い100分であった。

E5 : TDDライブ

(E5) 9:30 - 11:10	新しいTDDアプローチ TDDの新しい活かし方をライブで見せます！ (TDD研究会) ディスカッションゲスト: 秋山 浩一 (富士ゼロックスアドバンスドテク/ロジ) 和田 卓人 (タワース・クエスト) 咳 @ とちぎテストの会議 近江 久美子 (agile.swtest) 小池 輝明 (NECネクサスソリューションズ) 和田 憲明 (JaSST東京実行委員会)
----------------------	--

TDD:テスト ドリブン デベロップメント が現場にとって本物の武器となる、その取り組みが始まった。
TDD研究会からの提案をネタに豪華パネリスト陣による深い話が行われた。
TDDは一人で始められる。ぜひ始めて来年のこの場で情報交換を！